

(昭和28年8月6日第3種郵便物認可)

第3508号

研究会
培大
栽葉
液千
養が

企業が植物工場技術なとPR

新理事長に福田氏



福田理事長

NPO法人日本養液栽培研究会は5月31日、千葉県松戸市の千葉大学園芸学部にて、第96回日本養液栽培研究会・千葉大会並びに2024年度総会を開催し、これには70名以上が参集した。大会では「データが語る企業の養液栽培・植物工場関連技術」をテーマに掲げ、同研究会団体会員を中心に新製品の紹介や開発の経緯、実際の使用例などを紹介。また、ポスター発表形式での技術紹介、商品展示なども行われた。

総会では2023年度

事業及び決算報告、2024年度事業計画及び活動予算案、理事の改選などを審議し、全て事務局原案通り承認した。理事の改選では途中に理事会を挟み、令和6〜7年度の新理事長に福田直也氏(筑波大学)、副理事長に塚越寛氏(千葉大学)などを選任した。福田氏は理事長就任のあいさつとして、コロナ禍の中尽力した前任者らに謝意を述べ、コロナ禍の3年は非常に辛いものがあり、思うような研究活動ができなかったが、今ようやくほぼ全ての対面活動がOKになり、本日のような顔を突き合わせる情報交換が醍醐味といえる

と指摘。一方でコロナ禍

はオンラインツールという利器ももたらし、こうした利点も取り入れて共有をスムーズに行い、体制を整えていきたい、などと意気込みを語った。6年度事業では11月14〜15日に山梨県北杜市で養液栽培研究会及び現地見学会を、11月下旬に技術研修会などを実施予定。その後、研究発表が行

われ、口頭発表はリデン(株)・岡佑輔氏による「農作業記録アプリ『agmiru』について」や(株)大仙・河合幹裕氏による「リフティング式イチゴ栽培システム」など5講演、ポスター発表は芦森工業(株)・西田悠人氏による「RO水ミスト温調システム」など4件の発表が行われた。